

部 局 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

部局名	市民福祉部 環境対策監	部局長名	田畑 逸郎
-----	-------------	------	-------

部局内の 経営資源	当初予算	3 1 . 6 億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		2 9 人	4 人	3 3 人

部局の使命 (組織の存在価値)	環境関係業務の使命は、自然との共生や環境への負荷の少ない循環型社会を構築することであり、全ての市民が幸せを実感できる社会を実現するために、誰もが快適な生活を維持し安心して暮らせるまちづくりを目指し、事務事業を実施することである。	組織目標像	<p>【施策の目標像】 市民生活に直結した事業が多いため、各個別計画の課題等を踏まえながら、事業の立案並びに市民生活に欠かせない一般廃棄物の適正処理や施設の整備を図る。</p> <p>【組織の目標像】 市民、事業者、地域及び関係団体との連携により、重要課題にスピーディかつ的確に対応できる組織</p>
--------------------	--	-------	--

平成 2 1 年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標 (めざそう値)	具体的な取組内容	進捗状況 (年度中間)	年度末の達成状況
環境の保全 【環境課】	(1) ラムサール条約登録湿地の 蘭牟田池の保全	水質・底質調査の実施(継続) 外来魚リリース禁止の啓発、 回収事業の実施(継続) 外来魚駆除体制の確立	環境調査業務委託発注済(水質 (春季・夏季)、底質調査済) 外来魚回収業務委託発注済 啓発用回収袋の設置 回収状況(9月末) ブラックバス: 124 匹 ブルーギル: 7,331 匹 ライギョ: 17 匹 蘭牟田池保全対策連絡会未実 施(10月以降に実施予定)	環境調査業務委託実施済(水 質、底質)。 水質調査については、夏季から 秋季にかけての湯水のため、調 査地点を減らした。 外来魚回収業務委託実施済。 ・啓発用回収袋の設置 ・回収状況(3月末) ブラックバス: 126 匹 ブルーギル: 7,331 匹 ライギョ: 24 匹 蘭牟田池保全対策連絡会 ・2回の開催予定に対し1回の 開催となった

部 局 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

	(2) 環境家計簿の市民への配布	<p>広報紙に折込み全世帯に簡易な環境家計簿を配布し、地球温暖化防止の意識の啓発を図る。</p>	<p>広報薩摩川内 5 月 1 0 日号で折込み配布済み。</p>	<p>報薩摩川内 5 月 1 0 日号に折込み、配布済み。</p>
	(3) 川内川水質浄化広報	<p>関係機関と一体となった広報による啓発活動(3 回シリーズ)</p>	<p>広報薩摩川内 9 月 2 5 日号に折込み済。1 0 月、1 1 月の 2 5 日号へ折込み予定。</p>	<p>広報薩摩川内 9 ~ 1 1 月の 3 ヶ月間、2 5 日号に折込み、配布済み。</p>
	(4) 環境美化活動の推進	<p>環境美化推進員設置と連携広報及びパトロールの実施 快適環境づくり補助金の周知 衛生自治団体連合会との連携による美化活動の支援</p>	<p>4 月 1 日美化推進員任命。連携の確認。 広報薩摩川内 5 月 2 5 日号に掲載済。5 月 3 0 日から 6 月 5 日の 1 週間、環境美化推進員と市職員合同による不法投棄パトロールを実施した。 1 0 月 環境フェアでアメニティ基金募金と同時に周知。また、今後、広報紙掲載で周知予定。 ボランティア袋の配布や清掃ボランティア活動補助金を拠出してもらっている。</p>	<p>4 月 1 日環境美化推進員 120 名を任命。7 月と 2 月に研修会を開催し、連携を図った。 広報 5 月 2 5 日号で不法投棄について掲載。5 月 3 0 日から 6 月 5 日の 1 週間、環境美化推進員と市職員合同による不法投棄パトロールを実施した。 1 0 月 2 4 日開催の環境フェアでアメニティ基金募金と同時に補助金の周知を行った。 ボランティア袋の配布や清掃ボランティア活動補助金を拠出してもらい、市民に活用されている。</p>
<p>省資源・リサイクルの推進 【環境課】</p>	(1) ごみ分別の周知	<p>広報紙・リサイクル研修会等によるごみ分別の周知 リサイクル推進員を配置し分別の指導・周知 自治会未加入者対策として公設ステーションでの指導・周知</p>	<p>広報 9 月 1 0 日号でごみ分別の周知を行った。 5 月 1 8 日から 5 月 2 2 日にかけて研修会を実施した。 シルバー人材センターに委託し指導している。また広報薩摩川内 9 月 1 0 日号で公設ステーションの利用について周知した。</p>	<p>広報薩摩川内 9 月 1 0 日号でごみ分別や環境マナーについて掲載し周知を行った。 5 月 1 8 日から 5 月 2 2 日にかけて研修会を実施した。 シルバー人材センターに委託し指導している。また広報薩摩川内 9 月 1 0 日号で公設ステーションの利用について周知した。</p>

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

平成 2 1 年度

施設の整備と健全な稼働 【環境課】 【環境施設整備室】 【川内クリーンセンター】 【川内環境センター】	(1) 汚泥再生処理センターの整備	基本契約等の締結 各種届出・申請 実施設計書等審査 工事施工監理 地元と協定等の締結	基本契約等を締結した。 一般廃棄物処理施設設置届を 県知事へ提出した。 地元と協定等を締結した。	建築確認申請 特定施設設置届（水質）を県知事へ提出した。建設基本設計の審査を行った。敷地造成工，調整池設置工，プラント機器製作等の施工監理を行った。（全体事業進捗率 15%）
	(2) 施設の健全な稼働	定期点検等による施設の適正な能力の確保	【川内環境センター】 各設備について，計画的に点検補修を実施しながら，施設の適正な能力の確保に努めている。 【川内クリーンセンター】 各施設について，計画的に点検補修を実施し，施設の適正な能力の確保に努めている。	各設備について 計画的に点検補修を実施し 施設の適正な能力の確保に努めた。 予定した補修工事は 100%達成
	(3) 最終処分場の整備	本土地域 1 箇所，甕島地域 2 箇所の最終処分場の適正閉鎖事業の実施 平成 2 5 年度供用開始に向けて新たな最終処分場整備	最終処分場適正閉鎖事業において適正閉鎖に向けて継続調査している。 残容量を考慮し 平成 2 6 年度供用開始に向けて実計に要求している。	最終処分場適正閉鎖事業において適正閉鎖に向けて水質調査等を実施した。 平成 2 3 年度の実施計画で再度検討する。
生活排水対策の推進 【環境課】	(1) 小型合併処理浄化槽の整備	補助金の周知を図る。	広報薩摩川内 9・10 月で小型合併浄化槽補助金等を住民周知した。平成 2 1 年 4 月～ 9 月:281 基	広報薩摩川内 9・10 月で小型合併浄化槽補助金等の住民周知を行った。 平成 2 1 年度：402 基
年度中間総括	<ul style="list-style-type: none"> 概ね計画とおりの取組ができており，後期も早めの取組を継続していく。 部内組織の強化のため，職員の健康管理の徹底・明るい職場環境づくりの推進に積極的に取り組んでおり，課内，グループ内の応援態勢を進めながら，今後も積極的な取り組みを継続していく。 			

部 局 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

年度末総括

- ・ 概ね予定どおりの実施である。温暖化防止対策の取り組みとして全世帯に環境家計簿を配布して市民の意識の高揚を図った。次年度も更なる意識啓発に努めたい。
- ・ 藺牟田池の水位が渇水のため低下し、ベッコウトンボ等の希少野生動植物への影響が懸念されるので、次年度動植物調査を実施し変化の把握に努めたい。
- ・ 汚泥再生処理センター整備の基本契約の締結，地元と建設協定・環境保全協定の締結，土木設計・プラント設計を実施し，敷地造成工事を行った。